

多摩のかげはし

12
December
2012

多摩交流センターだより No.111 平成24年12月1日発行(隔月刊)



「師走」(蘭亭会会員作品)

今月の内容

TAMAイベント情報 助	2	講座・講義案内	5
○平成25年1月～3月の助成事業紹介		○多摩発・遠隔生涯学習講座 共	
東京TAMAタウン誌会 共同企画記事 共	3	○東京雑学大学講義 他	
○多摩をつなぐ		TAMA市民塾 共	6
「継続支援の担い手、個人ボランティアの人々」		3月期講座塾生募集・日曜講座	
第20回TAMAとことん討論会 共	4	多摩交流センター登録団体の会員募集案内 会	8
○もっと減らせる TAMAのごみ		編集後記	8
～プラスチックの3R～			

掲載記事の内容

調 東京市町村自治調査会にかかる記事 **共** 共催事業等にかかる記事 **助** 助成事業にかかる記事
会 会議室登録団体にかかる記事 **他** その他

t a m a e v e n t i n f o r m a t i o n
T A M A イベント情報

助

平成25年1月・2月・3月の助成事業紹介

ウインズ パストラーレ 第3回 定期演奏会

日時 平成25年1月12日(土) 午後2時開演
(午後1時30分開場)

場所 西東京市保谷こもれびホール(メインホール)

内容 第3回目の定期演奏会は、ウインズパストラーレの練習拠点、西東京市のこもれびホールに戻ってきました。東久留米市、小平市では、少年少女合唱団や熟年コーラスグループとジョイントしてきましたが、今回は西東京市の元気な子供たちが躍動する「kidsミュージカル ファクトリー」との共演が実現しました。2013年の幕明けにふさわしい、明るく楽しい吹奏楽曲と、子供たちのステージをお楽しみください。

入場料 無料

主催 ウインズパストラーレ

問合せ ☎ 042-424-4481(西原)

E-mail w_pastorale@yahoo.co.jp

ホームページ <http://windspastrale.cocolog-nifty.com/>



払沢の滝冬まつり

日時 平成25年1月～3月

場所 東京都西多摩郡檜原村 払沢の滝周辺

内容 東京都で唯一日本の滝百選に選ばれている「払沢の滝」は冬になると氷瀑となることで知られています。冬の檜原村の魅力を多くの人に知ってもらうために、1月から2月にかけてフォトコンテストの作品を募集し、3月に店舗等で展示し、観光客の方に投票を行っていただき、最優秀賞、優秀賞を決定します。また、1月から2月の何日に払沢の滝が最も氷るかを当てる「氷瀑クイズ」も開催します。期間中には、檜原村の特産品などを集めた「ほっこり市」も開催を予定しています。

参加費 無料

主催 払沢の滝冬まつり実行委員会

問合せ (社)檜原村観光協会内

- ・払沢の滝冬まつり実行委員会事務局
☎ 042-598-0069(午前9時～午後5時)
- ・払沢の滝冬まつり実行委員長
高木健一(ちとせ屋)
☎ 042-598-0056(午前9時～午後5時)

ホームページ <http://www.hinohara-hossawa.com/>



第11回 西多摩再発見フォトコンテスト入選作品展 NISHITAMA百景

日時 平成25年1月30日(水)～2月3日(日)
毎日午前10時～午後6時
ただし、30日は午後2時開場、最終日3日は午後4時閉場

場所 羽村市生涯学習センターゆとろぎ展示室

内容 魅力あふれる西多摩の自然や文化を写真で捉えた優秀作品100点を展示します。小学生から、ご高齢のカメラマンまで自慢の視点で紹介する力作ばかりが集められ、楽しく西多摩を短時間で一巡りできます。なお、翌週2月9日(土)には プロ写真家大西みつぐ氏の実践撮影テクニックスペシャルレッスン(参加費無料)が予定されています。カメラを持ってご参加ください。詳細は事務局まで

入場料 無料

主催 西多摩百景実行委員会

問合せ 事務局 ☎/FAX 042-539-7186(村山)

ホームページ <http://www.nisitama100k.com>



入選者でいっぱい表彰式会場

多摩交流センター・東京TAMAタウン誌会共同企画

多摩をつなぐ

継続支援の担い手、個人ボランティアの人々



東日本大震災から1年9ヶ月、復興への継続的な支援が個人ボランティアの手で続けられている。今年6月に宮城県石巻市小網倉浜への漁業支援を実施した『多摩市災害復興支援ボランティアの会』（代表・大井田重夫）は、今年3月に発足した。昨年6月に同市への災害復旧ボランティアに参加したメンバーが、継続支援を目的に活動している。

メンバーのひとり増田実生さんは東日本大震災の日から



▲増田実生さん(写真左)

1ヵ月後、テント、ガソリン、水、食品などを車に積み、単身で石巻市に跳んでいる。自衛隊が遺体捜索をしているそばで、家屋に津波で流れ込んだ泥と瓦礫の撤去作業に参加。行政の支援が届きにくい被災者への支援を継続していく必要性を実感したと言う。

同会代表の大井田重夫さんも、多摩市社会福祉協議会の呼びかけで石巻市への災害復旧ボランティアに参加している。

「このボランティアには100名を超える人が参加しました。私の行き先は牡鹿半島の小網倉浜でした。覚悟はしていましたが、テレビで見る震災の様子をはるかに超えた異常な光景に圧倒されました」

そんな中、浜辺の瓦礫を撤去しながら、絡んだ網を丁寧にはずし、碇や浮などを取り外す作業が続いた。「大切な漁具を再び使いたい」と言う現地の人々の声を受け止めた。

それから1年後、大井田さん達は再び小網倉浜に向かった。今年は漁業再開の支援のため、牡蠣の種付けのしかけ作りや、稚貝をロープに付け替える作業に取り組んだ。1年後・2年後の収穫を目指す、現地の人々との共同作業に18日間30名が参加している。更に仮設住宅での『つるし雛教室』（10月）や「餅つき大会」（12月）なども実施、心と心の交流が広がっている。

「再び小網倉浜を訪れることができ、多くの困難や悲し



▲今年6月石巻市小網倉浜での漁業支援活動

共
東日本大震災からの復興には多くの時間と汗が必要である。個人でできるボランティアはたとえ小さな力であっても、継続すれば必ず大きな力になる。——今回は多摩市内で宮城県石巻市を中心に支援を続ける個人ボランティアの人々を取材した。

多摩市災害復興支援ボランティアの会



▲大井田重夫さん

仕事をしているため、週末に東日本大震災支援の日帰りバスツアーを利用し、4月には宮城県山元町へ。イチゴ栽培の復旧のため畑作業に汗を流した。「東北で栽培された食品を購入することも支援のひとつ。福祉バザーでの石巻復興イベントのお手伝いもする予定です」と地域でできる支援にも力を注ぐ。

「東日本大震災の風化を遅らせたい」と言う水野智子さんは、故郷岩手県滝沢村が震災に襲われている。山間部のため被災は免れたものの数日間連絡が途絶え不安がつまった経験を持つ。その想いを現地の人々と共有しながら様々な支援を続け、現在では、岩手県沿岸部高校生への大会出場費の募金活動や、岩手県の復興を願う『復活暦』（*1）の普及などを支援している。さらに、被災地で飼い主と住むことができない犬猫を預かる『東京動物環境支援協会』（*2）を通じ、福島県いわき市で迷子になった犬の里親に。1ヵ月後、無事飼い主の住む南相馬市に帰すことができたが、その後も1匹の犬を家族の一員として迎え入れた。水野さんはこれからも里親の支援活動を続けたいと言う。



▲ゴールデンレトリバーの「ブラッ」は大切な我が家の家族」と水野智子さん

地道な支援がやがて大きな力となることを教えてくれる個人ボランティアの取り組みに期待するとともに、自らも今でることから始めたい。（取材：週刊もしもしんぶん）

●『多摩市災害復興支援ボランティアの会』

連絡先：大井田重夫 ☎ 090-2660-1041

*1 『復活暦』 <http://iwatepikapika.com/>

*2 『一般社団法人東京動物環境支援』 <http://yamanekoan.fan-site.net/hisaichishien.html>

第20回 TAMA とことん 討論会

共

多摩地域のごみの量は、全国平均を下まわり、高いリサイクル率を維持しているものの8月に発表された「多摩地域ごみ実態調査(平成23年度統計):発行(公財)東京市町村自治調査会」によると、家庭から排出されるごみの量が前年度よりも増加していることがわかりました。

昨年度のTAMAとことん討論会では、「古紙」に焦点を当て、主としてリサイクルの取り組みについて情報交換および議論を展開し、知っているようで知らなかった古紙リサイクルについてあらためて学ぶことができました。

そこで、今回は、紙同様に私たちの暮らしに深く関わっている「プラスチック」をテーマにさまざまな立場の方々にお話をいただきながら、プラスチックごみにまつわる多くのことを知る場にしていきたいと思えます。

また、容器包装リサイクル法の改正にむけての意見交換を行う時間も設ける予定ですので、参加者全員で話し合います。

なお、今回は第20回という節目であることから、あらためて多摩地域が一丸となつてごみの減量、3Rに取り組んでいくための情報共有の一環として、討論会のテーマである「プラスチック」について各市町村の回収方法や処理の方法、課題等を調査し、発表することになっています。

どうぞご参加ください。



第19回TAMAとことん討論会パネルディスカッション

○テーマ もっと減らせる TAMAのごみ
～プラスチックの3R～

○日時 平成25年1月27日(日) 午前10時30分～午後6時

○会場 アウラホール

多摩市関戸1-11-1 京王聖蹟桜ヶ丘S・C A館6階

○参加費 無料

ただし、希望者は資料集500円(事前申込者は400円) 報告書500円

○主催 第20回TAMAとことん討論会実行委員会

(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦 公益財団法人東京市町村自治調査会)

○後援 東京都 東京都市長会 東京都町村会 多摩市(予定含む)



第19回TAMAとことん討論会開会あいさつ

プログラム (詳細は<http://www.renpou.org>)

開会のあいさつ

基調講演

プラスチックとプラスチックごみ

村田徳治氏(循環資源研究所所長)

報告

多摩地域のプラスチックごみについて

江尻京子(東京・多摩リサイクル市民連邦事務局長)

休憩

全体討論

セッション1

私たちの暮らしとプラスチックごみ

セッション2

容器包装リサイクル法改正にむけて

閉会のあいさつ

問い合わせ先

第20回TAMAとことん討論会実行委員会事務局

特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦事務局内

☎ 090-3818-7006 Email tama.recycle@gmail.com

インターネット放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

共

主催：NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会

平成24年12月・平成25年1月予定の講座案内

106回

日時 平成24年12月13日(木) 午後2時30分から約1時間
 題名 薬の正しい使い方～自分の健康は自分で守ろう
 講師 加藤 哲太 氏(東京薬科大学薬学部教授)
 内容 現代社会においては、自分の健康は自分で管理し守る“セルフメディケーション”の考えが重要です。今回はその基盤となる「薬の正しい使い方」を取り上げました。主な内容は、①情報の宝庫、説明書(添付文書) ②薬の効き方(個人差、生活環境による違い) ③薬の相互作用 ④薬の安全性チェック ⑤健康食品と医薬品、です。

107回

日時 平成25年1月10日(木) 午後2時30分から約1時間
 題名 みんなはひとりのために、ひとはみんなのために～エンジン技術者が考えた民主主義
 講師 柳 良二 氏(宇宙航空研究開発機構 航空プログラムグループ・環境適合エンジン技術チーム研究員)
 内容 民主主義とは、多数決のみではなく、少数者を考慮する社会、エゴを通さない社会、みんなが幸福になれる社会制度でした。しかし、現在は多数決の名の下に、少数者が疎外されています。そして福島原発事故から一年余が立ちました。今や、研究者も単に研究のみではなく、社会の在り方についても考えなければならない時が来たのではないのでしょうか。

講座場所：多摩交流センター 第2会議室 サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
 先着30名までです。予約はできません。

受講料等：無料(ただし資料代100円)。

ライブ中継・VOD視聴：無料(<http://www.tsgn.dyndns.org/tsgn/>)

初回から視聴可 インターネットでVOD視聴(無料)できます。

問い合わせ：☎ 080-3427-9848(高原)、☎ 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人 東京

講義案内

(※会員受講料無料・会員外は12月13日と1月10日を除き、1回につき500円)

他

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第865回	12月6日(木) 午後2時から	朗読 ～茨木のり子の詩から	志賀 澤子 氏 (舞台女優・演出家)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 西へ徒歩7分)
第866回	12月13日(木) 午後2時30分から	薬の正しい使い方 ～自分の健康は自分で守ろう	加藤 哲太 氏 (東京薬科大学薬学部教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 北へ徒歩3分) ※
第867回	12月20日(木) 午後2時から	江戸城政治家・ 田沼意次(おきつぐ)	深谷 克己 氏 (早稲田大学名誉教授)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 南東へ徒歩1分)
第868回	1月10日(木) 午後2時30分から	みんなはひとりにために、 ひとはみんなのために ～エンジン技術者が考えた民主主義	柳 良二 氏 (宇宙航空研究開発機構航空プログラムグループ・ 環境適合エンジン技術チーム研究員)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 北へ徒歩3分) ※
第869回	1月13日(日) 午後2時から	後藤新平と震災復興	青山 侑 氏 (作家・明治大学公共政策大学院教授、元東京都副知事)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 北東へ徒歩7分)
第870回	1月17日(木) 午後2時から	銃社会アメリカの文学について	米山 益巳 氏 (学習院女子大学名誉教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 西へ徒歩7分)
第871回	1月24日(木) 午後2時から	福澤諭吉の女性論・家族論	西澤 直子 氏 (慶応義塾大学福澤研究センター教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第872回	1月31日(木) 午後2時から	チョコレート雑話(仮題)	玉川 千里 氏 (元森永スナック社長)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 西へ徒歩7分)

☆申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

[詳細問合せ先] ☎042-465-3741(浅田) ☎0422-52-0908(菅原)

TAMA市民塾

平成25年
3月開講

塾生募集

共

公募による講師と市民の発想・企画・運営による
新しい生涯学習(楽習)のステージ【TAMA市民塾】
平成25年3月期より、4講座を開講致します。
今回もユニークで楽しい講座を用意して皆さんをお待ちしています。



開講期間：【5ヶ月コース】平成25年3月～平成25年7月

会場：多摩交流センター他

主催：TAMA市民塾・(公財)東京市町村自治調査会

No.	講座名・講師名	講座内容	回数・曜日 時間・定員
1	マジックを体験してみませんか 高橋 忠利	「マジックとは 常識の虚をつく錯覚美の芸術である」と言われています。マジックとは…「観て・習って・試して・創って・楽しむ」ものです。マジックを覚え体験して脳を活発にしましょう。たちまちあなたは人気者。 (教材費 2,500円)	5ヶ月コース 毎月2回・全10回 第1・3金曜日 (第1回は3/1) 14:00～16:00 (26名)
2	土方歳三と 新選組ウォーク 村瀬 彰吾	新選組をつくり、徳川幕府直参まで出世をした才腕、土方歳三。多摩の百姓の俸が江戸へ出て、近藤勇、沖田総司と共に剣術修行に励んだ日々。歌舞伎役者にしたい程の色男、歳三とはどのような人物だったのか。江戸府内、土方歳三ゆかりの地を訪ねます。 (ウォークにかかる必要経費は、各自負担)	5ヶ月コース 毎月2回・全10回 第1・3土曜日 (第1回は3/2) 10:00～12:00 (30名)
3	住まいを楽しく 科学してみませんか 徳村 穎子	快適な室内環境(清らかな空気、夏涼しく冬暖かく、明るくて心地よい、静かな空間)を作り出すための知識を楽しみながら学ぶ講座です。細図やグラフをマーカーで色分けしながら理解を深めます。屋外に出て建築見学も楽しめます。 (教材費:資料カラーコピー代、屋外見学時の交通費・入館料は、各自負担)	5ヶ月コース 毎月2回・全10回 第2・4土曜日 (第1回は3/9) 10:00～12:00 (26名)
4	病とくすりの 歴史散歩 山口 久夫	正倉院保存の「御薬物」の由来、実母散や六神丸やガマの油などの伝承薬の成分・効能、多摩出身の名医達の活躍ぶり、昔の恐ろしい疫病の蔓延、現代の新興感染症の現状についてやさしく解説。街歩き(5回)では、花とくすり(植物園)と寺社とご利益について学びながら、楽しく散歩します。 (街歩きにかかる交通費・入館料は、各自負担)	5ヶ月コース 毎月2回・全10回 第2・4土曜日 (第1回は3/9) 14:00～16:00 (30名)

●申込資格

多摩地域30市町村に在住・在勤・在学の方が対象です。
(開講時に本人確認のため身分証明書をご提示頂くこともあります。)

●申込方法

通常はがきに下記の事項を記入してお申し込みください。

- ①講座No. ②講座名 ③氏名(ふりがな)
④〒・住所 ⑤電話番号 ⑥年齢・性別
- ・はがき1枚に1講座名を記入(2講座以上の記入は全て無効)
 - ・応募は1人2講座まで(3講座以上の申し込みは全て無効)

●申込期限

平成25年1月4日(金)<必着>

- ・応募者が定員を超えた場合は抽選になります。
- ・抽選結果は、平成25年1月5日(土)に当選者のみ封書で発送致します。
- ・募集締切後、定員に満たない場合は追加募集を致します。
詳しくは多摩交流センターのHPと多摩交流センター内の
掲示板でお知らせ致します。

●申込先

〒183-0056 府中市寿町1-5-1
府中駅北第2庁舎6階 多摩交流センター内「TAMA市民塾」

●受講料

全10回の講座 5,000円
(教材費が別途必要な講座もあります。)
・払込方法については抽選結果の中でお知らせ致します。
・期日までに受講料を払込みください。

払込期限 平成25年1月25日(金)

払込まれた受講料は理由を問わず返金致しません。
(※また、払込期限を過ぎた場合は無効になります。)

●その他

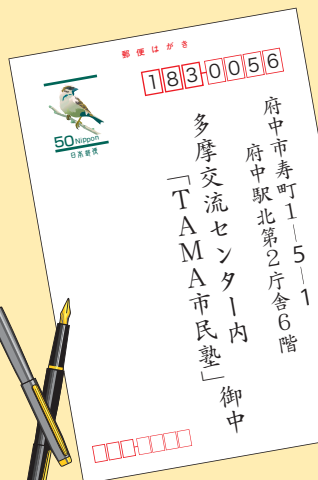
- ・応募者が15名以下の場合、開講しないことがあります。
- ・講座のカリキュラム等は多摩交流センターHP及び多摩交流センター内で見ることができます。
- ・保育施設はありません。
- ・駐車場はありませんので車でのご来所はご遠慮ください。
- ・ご応募いただく個人情報は、当該講座に関することのみを使用致します。

●問合せ先

☎ 042-335-0111

(年末年始を除く月～金曜日 午前9時～午後5時)

E-mail:tama_shimin_juku@true.ocn.ne.jp



はがき記入例

- 1 講座No.
- 2 講座名
- 3 氏名(ふりがな)
- 4 〒・住所
- 5 電話番号
- 6 年齢・性別

TAMA市民塾・日曜講座

講座名

第92回

古事記編纂1300年
—声に出して神話を読んでみましょう—

講師

五所 愛子 氏

プロフィール

武蔵野市、文京区、TAMA市民塾等で、古典朗読の講座を担当し、講座終了後、自主グループで朗読の指導を続けている。

賛助出演者

藤川逸郎、上田次兵衛、浜崎幸宏、高橋繁夫、名倉俊子、竹原陽子

内容

古事記は、712年に撰上されてより、2012年で1300年経ちます。上、中、下の3巻からなる古事記の、神話とよばれる上の巻は、たいへんおもしろいです。戦前の解釈や曲用から解放されて、日本最初のものごととして読むと、こんなに興味深く楽しいものはありません。今回は、「天地の始め」から、みんなで声に出して読み、その魅力に触れてまいりましょう。

日時

平成25年1月20日(日) 午後2時～4時

場所

多摩交流センター 第2会議室
京王線府中駅北口
府中駅北第2庁舎6階
(府中市寿町1-5-1)
※駐車場はございません

申込方法

当日会場にお越しください。
先着50名までとさせていただきます。

受講料

無料です。

問合せ

多摩交流センター内 TAMA市民塾

☎ 042-335-0111 (年末年始を除く月～金曜日 午前9時～午後5時)



多摩交流センター登録団体の会員募集案内

会

多摩交流センターの会議室を利用するなどして自主的に活動している団体が、新規会員を募集しています。紹介記事をご覧になって興味を持たれた方は、ぜひ各団体にお問い合わせください。

凡例 団体名 ①活動内容 ②活動日 ③会費 ④募集人数 ⑤問合せ先

こころつたえ

- ① 自分という楽器(心も身体も)を使って、自由にのびのびと、そして楽しく表現していくのが私たちの朗読です。「こころつたえ」の名のとおり、聴く人の心に響く朗読をめざして、和気あいあいと学んでいます。発声は健康にも繋がります。皆さんも一緒に朗読しませんか？
まずは、お身体ひとつでいらしてください。
- ② 第1・3水曜日の午前(月2回)
- ③ 1,000円/月
- ④ 若干名
- ⑤ 藪谷(ヤブヤ) ☎ 042-525-3900



你好あんずの会

- ① 平成19年にスタートした私達の会のモットーは、「楽しく、仲よく、ゆっくりと学ぼう」です。講師の李先生は、経験豊かでどなたにもわかり易く根気よく丁寧に教えてくださり、人間としてもご立派で尊敬に値する方です。現在の講義は初級テキストを中心として文法、発音、会話を学んでいます。短い文章を聴いて書き取り、それにピンインをつける練習は、予習復習を必要としますので自身の実力をつける上で大変役立っています。
- ② 第2・4土曜日の午後(月2回)
- ③ 2,000円/月
- ④ 若干名
- ⑤ 杉浦かほる ☎ 042-381-4188



バレエDEストレッチ

- ① 年齢を重ねていくと「膝や腰」などが痛くなってきます。バレエのストレッチで正しい姿勢を身につけることで、防ぐことができます。また、肩こりをほぐしたりヒップアップの効果を得られることも。レッスンでは毎回音楽に合わせて、バーを用いたストレッチと楽しいステップもあります。気分はバレリーナ。多くの皆様のお越しをお待ちしています。
- ② 第2・4木曜日の午前(月2回)
- ③ 1,000円/月(3か月分前納)
- ④ 若干名
- ⑤ 小室 ☎ 042-333-8815



ビデオサークル 月曜クラブ

- ① ハイビジョン映像(動画)がデジタルカメラで撮れる時代。散歩道の四季の移ろい、旅行の感動や思い出・記録、イベントの様々、子供や孫の成長など身近な映像を撮り、編集してBGMを入れたりひと工夫すれば立派なビデオ作品(映像記録)。年齢に関係なくビデオ作品を楽しんでいます(パソコンで編集ソフトなどを活用)。現在は20名の60~70代が中心ですが、若い人も大歓迎。
- ② 例会は2か月に1度(最近では月曜か水曜の午後)
- ③ 1,000円/2か月
- ④ 若干名(ビデオに興味ある方)
- ⑤ 藤原 浩 ☎・FAX 042-385-0236



編集後記

- 今年も早12月、年の瀬を迎えようとしています。あの長く暑かった夏が嘘のように去り、短かった秋も過ぎ、めっきり冷え込んだ今日この頃です。今年の冬は暖冬傾向(ただし、東京は雪が多くなるとか!)とのことですが、やはりあの暑さとのギャップを感じざるを得ません。
- 何かと慌ただしい師走の季節ですが、体調を崩しやすい時期でもありますので、皆様、どうぞ健康には留意してください。
- 今年も一年、「多摩のかけはし」をご愛読いただき、ありがとうございました。来年もさらに内容を充実させていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。
- 最後に、来年が皆様にとりまして良い年でありますよう、心よりお祈りしております。



発行日 2012年12月1日
 発行 公益財団法人 東京市町村自治調査会
 多摩交流センター
 責任者 桑原正志
 〒183-0056 府中市寿町1-5-1
 府中駅北第2庁舎6階
 TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127
 ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>
 過去1年分のバックナンバーはHPでご覧になれます。
 E-メール tama001@tama-100.or.jp
 印刷 株式会社 共同印刷所
 再生紙を使用しています。